

南紀白浜コミュニティ放送株式会社
令和7年10月期 番組審議会の報告

放送事業者は、放送番組の適正化を図るために定期的に番組を審議する番組審議会を行うことが、「放送法」で定められています。FM ビーチステーションでも、白浜町在住の8名の委員によって委員会を開催しています。令和7年10月28日に開催されました番組審議会の内容の一部をご報告します。

事務局：公私お忙しい中、出席を賜り誠に有難うございます。定時になりましたので開催させていただきます。本日視聴いただく番組は、「防災のチカラ！訓練最前線」です。日本各地で発生する地震、台風、豪雨などの自然災害、また南海トラフ地震発生時には甚大な被害が想定されている当地域において、実際の防災訓練や地域の防災活動の取材、活動報告などを通してリスナーにリアルな情報を届ける番組で、単なる知識の提供にとどまらず、実践的な行動に繋がる防災意識の向上を目指して制作しています。今月は、職場体験の中学生に出演してもらい学校での防災活動についての作文を披露していただき、さらに白浜町と災害協定を結んでいるオレンジロケット株式会社代表の落合さんにお話を伺いました。

委員長 各委員からのご意見やご感想をお願いします。

委員 この紀伊山地は山ばかりで、昔中辺路の実家が台風で寸断された際、状況が全く分からなかった。住んでいる人たちのことがとても気になった。そんな時にドローンがあったら良かったと思う。

委員長 オレンジロケットはどんな会社でどこにありますか？

事務局 ドローンの飛行業務や、ドローンスクールも行っている白浜町内の会社です。白浜町とも防災に関わる連携協定を結んでいます。

委員 オレンジロケットの社長さんの言葉通り、ヘリの初動には時間がかかる。ドローンを使える人が何人もいたら対応も早くなると思う。

委員 中学生の作文を聞いて、阪神淡路大震災は大昔のことで、東日本大震災も中学生にとっては幼すぎて記憶にないと感じた。災害は忘れたころにやってくるというのが、語り継ぐことは大事なことでと思った。

委員 この番組はとても必要な番組なので、何回も放送して、できればより聴いてもらえる時間帯を選んで放送してほしい。

事務局 現在この番組は毎週再放送を行っています。放送時間については局内でも再度検討いたします。

委員長 小学校 6 年生の時に起こったチリ地震のことは今でも鮮明に覚えている。潮が引いて打ち上がった魚を取ろうとしたら、近所の大人に津波が来るから逃げろと言われた。そのあと実際に津波が来た。家が流されることはなかったが、ゴミ箱や自転車などが流されていた。

委員 ぜひ今度この番組でお話ししてください。

事務局 ご審議有難うございました。今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。